

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672700145
法人名	有限会社 ひまわり苑
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県南九州市川辺町上山田4239-5 (電話) 0993-58-9038
自己評価作成日	平成25年3月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近所の入居者様のご家族の畑があり、散歩がてら野菜の収穫ができる。敷地内の畑からも、無農薬野菜が取れる。豊富な野菜と新鮮な魚も使用し、栄養バランスのとれた食事が提供できる。

・食事が美味しいと、入居者様が、ご家族や病院などで話している。

・桜の木をホーム近くに移植し、みんなで花見を楽しむ環境づくりを行っている。

・極力コミュニケーションを図るために、フロアでみんなの集まる時間帯を長く設け、家庭的な雰囲気を作っている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・ひとつの大家族が、なごやかに暮らしているようなホームであり、全職員が地域密着型サービスの意義を受けとめ、本人の思いに添ったケアに熱意をもって取り組んでいる。

・代表者は『入居様に教えられ、働かせていただいている。』との思いで質の高いサービスを提供している。また、職員のチームワークが良く、ケアへの熱意が高い。

・運営者が地元在住で、地域住民と馴染みがある。開所以来勤務している職員も近隣在住が多く、地域との連携や継続的な支援が地域に根ざしている。

・食事は、鮮度のいい刺身や無農薬野菜・旬の野菜などが食材で、美味しいと家族から喜ばれている。職員は、利用者から得意の包丁研ぎを教えてもらったりしている。

・災害対策は、運営推進会議の議題に提案して、時間をかけて具体的に意見交換し、消防署や地域住民との連携が確立している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自立支援や地域とのつながりを大切にしたい理念になっていると思う。事務所やホールに掲示して居り、申し送りの時にみんなで唱和し、理念の共有に努めている。	理念は、地域密着型サービスの意義を踏まえて作成し、事務所やホールに掲示している。申し送りの時に唱和し、職員で共有しながら日常のケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方が野菜などを持って訪問してくださり、お茶を一緒に飲んで交流を図っている。回覧板で情報を共有し、災害時の協力をお願いしている。	小学校運動会の見学やホームのクリスマス会へ地域住民を招待したり、中学生の職場体験を受入れている。地域のボランティアの訪問やお茶のみに立ち寄り、野菜の差し入れがあったり、介護についても気軽に相談にのるなど、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症にかかわらず、介護についての相談を受けることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行事や取り組みについて報告を行い、多角的に見て評価できている。</p>	<p>運営推進会議では、時間を十分に設定して、提起された議案に真剣に取り組んでいる。外部評価の報告も行い、提案のあった事項は、早期に実現して、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者が運営推進会議に毎回出席している。メールでの通信が多くなり、相談しやすくなった。</p>	<p>市役所には、事務手続きや相談ごとで出かけているが、メールでの連絡も取っている。担当職員が、運営推進委員会に毎回、出席するほか、ホームの現状などについて連絡を取り合って協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修を実施し、職員全員で身体拘束や虐待のないケアの実践に努めている。夜間以外の玄関の施錠は行っていない。ご家族様にも契約時に説明している。</p>	<p>年に1回、身体拘束や虐待に関する研修会を実施し、職員に周知徹底している。言葉をさえぎるような言動にも注意している。日中、玄関の鍵をかけないで、外に出たい様子の時は、それとなく寄り添って一緒に行動し、自由な暮らしを支援し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と合わせて研修を行っている。思わぬことで、入居者様を傷つけないよう、スタッフ相互で、注意をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業を利用している方も入居しており、必要がある場合は、活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、事前に契約書等を渡し読んで頂いた上で、説明を行っている。理解納得できたか確認の上、契約や解約の署名捺印を貰っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。外部に第三者委員を定めている。ホームでの窓口、外部での窓口を入居時に説明すると共に、ホールに掲示している。運営推進会議でも利用者、家族の意見が出るように努めている。	重要事項説明書に相談窓口・苦情対応の項目があり、相談担当員・第三者委員・役場など窓口の存在を明記して入居時に家族に説明している。いつでも意見や要望に対応できるように意見箱の設置やホールにも掲示して配慮している。運営推進会議では、家族から建設的な意見や提案があり、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送りや日常の業務の中で、意見や提案を察知し、反映させていくように努めている。</p>	<p>代表者や管理者は、申し送りや日常のケアの時、折りにふれ意見を聴いている。意見はケアのことや職務のことなど忌憚なく出されており、出された意見は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の状況を把握し、努力している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立ててホーム内で各研修を行うと共に、外部研修に出る機会を確保できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、研修や交流会に参加している。疑問がある時は、個々に連絡をとり、意見を聞いたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、要望や不安なことを聞いて対応するようにしている。居宅のケアマネに事前に情報提供を頂き、性格や、思いを把握するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、時間をかけ、聞き取りを行っている。面会時も家族の不安や、相談を安心して話していただけるよう声かけしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅ケアマネから情報を頂いたり、今までの経緯や現状を聞き、本人や家族の希望を優先しつつ、他のサービス利用も含めて、必要なケアを選択出来る様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみ等の軽作業を行ってもらい、生活の一部を担っているという実感を持ってもらえていると思う。入居者は、介護を受けているとは思っておらず、共同生活者として実感している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会の際や、電話で、本人の状況や思いを伝え、家族と共に本人を支えていけるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の友人・知人や近隣住民の訪問を気軽に受け入れて、馴染みの関係の継続に努めている。</p>	<p>1軒の家のような存在で、訪問者が多く、近隣住民や馴染みの友人が気軽に訪ねて来て、話はずんでいる。墓参りも支援しており、馴染みの関係が継続できるように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>作業やレクを通して気持ちを共有し、一緒に暮らしていく仲間であると認識できるように支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、必要があれば、相談に乗ったり、経過をフォローしたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者と家族から、意向や希望を聞き取ると同時に、日常生活での言動から把握するようにしている。	利用者からは、生活の中で思いを聞いている。家族の面会時に、特に声かけして、思いや意向を把握し、買い物の要望なども聞いている。食べ物についての希望は、家族に協力してもらっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅のケアマネや入院している病院に情報提供をお願いしている。入居時に、家族や本人から情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し個人記録に状況が分かるように記載してもらい、また、申し送りやケア会議の際に情報の共有と、すりあわせを行い、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者や家族の意向を日頃の会話から意向を汲み取り、すりあわせを行っている。また、申し送りや業務の中での会話から職員からの情報や意見を汲み取り、ケアプランを作成、モニタリングを行っている。	介護計画は利用者や家族・関係者の意見を聴き作成している。日常生活の中でケアプランに添った介護をしながら、状況を把握しケア会議の中でアセスメントやモニタリングを行っている。状況に変化があったときは現状に即したプランに変更し、家族にもケアプランに同意を得ている。モニタリングは毎月実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に、状況を記載し、申し送りを行っている。スタッフは、勤務以外の時間の記録を読み、情報を確認している。計画作成担当者も、個人記録を見直しつつ、アセスメントやモニタリングを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりを支える視点で、柔軟な支援ができるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小学校からの慰問や中学生の職場実習が恒例行事となり、交流している。地域の消防団の方にも、協力を依頼している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に入居者や家族が望むかかりつけ医について話し合いを行い決定している。必要があれば家族の受診立会いを求め、協力を頂くと共に、受診結果を報告している。</p>	<p>利用者の症状や家族の意見を聞き、かかりつけ医の受診を優先している。必要があれば、近くの協力医療機関で受診することもあり、家族にも立ち会ってもらっている。受診結果は報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホームに看護職員が常勤しており、日常の健康管理、医療的な部分で相談しながら、支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は、定期的に面会を行い、家族や看護師等から情報を受けて、状況を判断しつつ、早期退院に向けて支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に対しては、事業所としては対応していない。</p>	<p>重度化や終末期については、ホームでの対応はしない方針で入所時に家族に同意をもらっている。利用者が病気や負傷等により、検査や治療が必要になった時は主治医や協力医療機関において、必要な治療等が受けられるように支援することとしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に研修を行い、マニュアルを作成し、いつでも見れるところに置いてある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火避難訓練を行っている。近所の方や地域の消防分団にも、協力をお願いしている。スプリンクラーも昨年度設置している。	消防分団の指導のもと、消火避難訓練を実施している。役割分担や避難経路など具体的に決め、訓練を行っている。防火水槽やスプリンクラーも設置している。近隣や地域住民にも協力を依頼している。災害時の水や食料などの備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者が恥かしい思いをしないようにさりげなく接し、本人のできることを優先して、一人一人の人格を尊重している。	人格を尊重し、誇りやプライバシーを傷つけないような言葉かけや対応を行っている。個人情報の取り扱いについては、職員間でも個人情報の洩れなどに気をつけて、書類の保管は慎重に扱っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意図的に開かれた質問により意見を促したり、選択できる場面を日常生活の中で設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせて過せるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は本人に選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に反映し、郷土料理などを献立に取り入れている。お好み焼きなど、テーブルで調理することにより、五感を刺激し、楽しんで食べられるようなイベントも行っている。	食事は、つわや空豆・捕れたての魚などが食卓にあがり喜ばれている。懐かしい郷土料理や卓上での料理などを取り入れている。包丁研ぎの上手な利用者が職員に協力している。クリスマス会やひなまつり・花見・誕生会などの行事食は特に楽しみのひとつである。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を記録している。食事摂取量は毎食記録し、水分摂取量も必要に応じて記録している。一人一人の状態や力を把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの状態に応じて、口腔ケアの習慣づけを行っている。夜間は、義歯洗浄の介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に取り組んでいる。排泄の際は、羞恥心を考慮し、席をはずして見守ったりしている。	排泄チェック表にて個人のパターンを把握し、さりげなくトイレに誘導している。夜はポータブルトイレ、昼はリハビリパンツや布パンツを使用し、トイレでの自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録をチェックし、便秘にならないよう注意している。食物繊維のある食品や水分の摂取を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の希望を優先しながらいつでも入浴できる体制をとっており、体調の変化などで清拭に変更するようにしている。拒む場合は時間をおいて声かけしている。	入浴は、本人の希望を尊重して、いつでも入浴できるようにしている。夏は、体調や気分などの状況に応じて対応している。清拭にすることもある。皮膚科の指示など、気配りしながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	体調や行動により、休息が取れ るように配慮している。その日 の状況により室温を調節し、安 眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	薬情書をケース記録に綴り、介 護職員にも目を通してもらって いる。誤薬事故がないように、 配剤用のケースを作るなど、確 認ができるように工夫している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活 暦や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	洗濯物たたみや新聞折など、声 かけしなくても入居者が自らし てくれる作業がある。楽しんで 行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるように支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	天気の良い日は日常的に散歩に 出ている。墓参りも行っている。	日常的に近隣の散歩や買い物に 出かけている。天気の良い日は、 外出を楽しみにしている。近く の公園の桜の花見や小学校の運 動会の見学・墓参りなど、車い すの利用者も一緒に外出支援し ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>所持金を家族に把握して頂き、自分で持っている方もおられる。「失くした」「盗られた」と言う事例があり、金銭の自己管理については、消極的になっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望や家族の状況により、電話できるように介助している。電話がかかってきたときも本人に伝え、取り次いでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝掃除し清潔を心がけている。なるべく自然に近い温度調節を行い、庭に季節の花も咲き、五感で季節感を感じられるよう配慮している。</p>	<p>玄関には大きな壺に、あふれんばかりの季節の花が飾ってある。田舎の大きな家という感じで親しみ易い。掃除も行き届いて浴室やトイレが清潔である。台所や食堂・居間での和やかな語らいの場があり、我が家のような居心地のよい共用空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールの椅子で外を眺めたり、和室のソファでくつろいだり、思い思いに過ごしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具やお位牌や家族の写真飾ったりしている。</p>	<p>家族と相談して持ち込んだ家具や写真や壁掛けなど、個性的な設営となっている。使い慣れた調度品は、気持ちよく、安心して過ごせる自分の部屋となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ベッドの高さを調節して立ち上がりやすくしている。廊下、トイレ、風呂など手摺がついており、安全になるべく自立した生活ができるように心がけている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない